

授業改善等に関する報告書（2019年後期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本語表現法 a（英コミ④）	鹿島 千穂	まとまった量の文章の要約と日本語の語彙力強化を中心とした授業でしたが、文章の要約は少々ハードルが高かったようで、苦戦している様子がうかがえました。だからこそ、「授業を通して成長を実感できた」という学生が多かったことを嬉しく思います。授業外での学修時間が少ないようなので、次年度以降は課題の出し方を工夫したいと思います。
日本語表現法 a（英コミ①）	鹿島 千穂	まとまった量の文章の要約と日本語の語彙力強化を中心とした授業でしたが、文章の要約は少々ハードルが高かったようで、苦戦している様子がうかがえました。だからこそ、「授業を通して成長を実感できた」という学生が多かったことを嬉しく思います。授業外での学修時間が少ないようなので、次年度以降は課題の出し方を工夫したいと思います。
情報リテラシー 1 b（基礎③）	久保 ちづる	アンケートの「Ⅰ. あなた自身について」の結果から、多くの皆さんが授業および事前事後学修に真摯に取り組み、自身の成長を実感したことが分かります。また、「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」についても概ね問題のない評価でした。皆さんは授業目標「表計算ソフトExcelを活用できるようになり、同ソフトの検定3級合格レベルのスキルを修得する」を目指して学んできましたが、その努力が実を結び、受験者全員が合格できました。15回授業アンケートの「振り返り」の記述にも“この授業を通して…多くのことを学び、身につけることができました。これから更にExcelの知識や技術を磨いて、社会でも役に立てたいと思います。”とあり、皆さんが「学ぶ楽しさを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えます。
情報リテラシー 1 b（基礎④）	久保 ちづる	アンケートの「Ⅰ. あなた自身について」と「Ⅲ. 全体について」は概ねよい評価でした。少人数のメリットとも言えますが、個別対応できる時間が多く取れたこともあり予復習時間は多くありませんでしたが、自身の成長を実感したことが分かります。自由記述欄からも満足度が伝わってきました。「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」の「授業」についても問題なしの評価でした。皆さんは授業目標「表計算ソフトExcelを活用できるようになり、同ソフトの検定3級合格レベルのスキルを修得する」を目指して学んできました。検定日の直前講習のギリギリまで真剣にExcelに取り組みました。その努力が実を結び、受験者全員が合格できました。こうした過程で、皆さんが「学ぶ楽しさを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えます。
インテグ・イング b（6クラス）	三田 薫, ワインダー, グレゴリー・	「英語の基礎力が身についた。」「海外に何かを発信する自信がついた。」というコメントがあり、英語力や自信を身に付けてくれたことをうれしく思う一方、授業のスピードが速すぎるというアンケート結果が出ていることがわかりましたので、来年度は内容を厳選して、皆さんがじっくり取り組めるようにしたいと思います。
インテグ・イング b（7クラス）	久保田 佳枝, ワインダー, グレゴリー	短大の必修科目で週2回の授業は出席するだけでも大変だったと思います。また英語に対して苦手意識がある中、英語の4技能向上に向けたグループ学習にもかかわらず、皆さんよく頑張っていたことは理解しています。日コミの学生さんは当該授業のみが短大時代で唯一の英語ですが、一年を通して学んできた高校までの英語授業とは全く異なるスタイルと内容を忘れずに今後の皆さんの将来にお役に立てますことを期待いたします。
キャリアプロジェクト	板倉 文彦	本科目は事前に面談を行い、意欲の高い学生に履修してもらいました。そのため、欠席も少ないうえ取り組み姿勢も真剣であり、スムーズな授業進行ができました。このような良い環境で授業が進行したため、教員側としても伝えるべきことを十分に伝達できたと感じています。評価結果からは、そういったこちら側の想いに学生の皆さんが十分に答えてくれた結果だと思います。今後は、学んだことを生かし希望の進路に近づくために、必要に応じてアフターフォローをしていきたいと思っています。
生物科学	阿尻 貞三	わかりやすく説明したつもりですが。
オープン講座④	村山 真一	数式に対して、苦手意識を払拭し、慣れ親しむという目標はほぼ達成されたのではないかと思います。数式は、何も特別なものではなく、ふつうに自然に考え処理すればよいということが十分に伝わったと思う。数式の有用性に対しさらなる興味、関心を促すことを今後の課題としたいと思う。
女性とライフサイクル	西脇 智子	この授業では、女性の一生をライフサイクル（循環する生命）とライフコースの視点から学びました。分析結果を見ると理解度は概ね良好で授業目標を達成することができました。子供と一緒に暮らす女性の将来を考えて教材にはかなりの工夫を要しましたがわかりやすさを評価していただき大変励みになりました。
文学 b	高瀬 真理子	授業に対する自己評価が低いので、その意味でのわかりにくさがあったのかもしれませんが、日本とイギリス、文学と絵画というジャンル違いをまたがることへの不安もあったのかもしれませんが、そこは教える側の戸惑いとも合致するので、教える側がしっかりと腰を据えて授業に臨むよう、心がけたいと思います。成長実感はほぼ全員に見られたので、よかったです。
日本語表現法 b	鹿島 千穂	日本語表現に関する知識を増やしつつ、実践も重視した授業を行いました。実際に「書く」場面が多く、苦手な学生は少々辛かったかもしれませんが、だからこそ、「自身の成長を実感できた」と回答した学生が多かったことを嬉しく思っています。今後も、日本語の語彙力を増やしたり、さまざまな文章に触れたりすることで、日本語表現力の強化に努めてください。
オープン講座③	三田 薫, 松尾 昇治	受講生のみなさん この授業では、各界の専門家から多角的に渋谷学の講義を受け、それぞれが渋谷地域を理解し、フィールドワークをもとに、その成果を発表してもらいました。それぞれ、素晴らしい発表であったと思います。これから、みなさんの地域で、この授業で学んだことを活かしてください。一生の宝物です。

[2019（後期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本語表現法 a（英コミ②）	鹿島 千穂	まとまった量の文章の要約と日本語の語彙力強化を中心とした授業でしたが、文章の要約は少々ハードルが高かったようで、苦戦している様子がうかがえました。だからこそ、「授業を通して成長を実感できた」という学生が多かったことを嬉しく思います。授業外での学修時間が少ないようなので、次年度以降は課題の出し方を工夫したいと思います。
日本語表現法 a（英コミ③）	佐藤 辰雄	○なんとも元気なクラスであった。にぎやかでも授業の進行に沿う事多く、また素直なので、言葉の学習授業はこうであっても良い。漢字や四字熟語の事前学習も稀なほど優秀だった。 ①問4授業理解度が82.8%と高いのは、問11成長実感4.11や授業満足度4.67と連動しているよう。 ②問14自己採点が4.33とべらぼうなぐらい高いのも、彼女たちの明るい性格が反映したのかと微笑ましい。またそうした自信があっても良いと思えるほど粒揃いだった。教員による評価が3.75と学生の自信に比べてないのが申し訳ない。
暮らしと環境	西脇 智子	この授業では、地球の環境に照らして人類が挑戦するさまざまな動向が背景にあるなかで「暮らしと環境」を学びました。分析結果を見ると「理解度」は概ね良好で授業目標を達成することができました。リアルタイムの情報が多く、教材にはかなりの工夫を要しましたが、わかりやすさを評価してもらい大変励みになりました。
オープン講座⑤	板倉 文彦	全体的に平均値をやや下回る評価となりました。本科目は常時100名から200名程度が受講しているため教室が大きく、フリーコメントでは指定席で講義資料が読み取りにくかったとの意見を頂きました。また、メインとなる講師が昨年度から変わったことも影響していると思われます。今回の評価を生かし、次年度は内容や講師などの全てを、より学生の皆さんの満足度が高まるよう事務側と協力して見直していきたいと思えます。
文学 c	横田 順子	1時限にもかかわらず授業内容に興味をもって履修してくれた方が多いだけあって、ほとんどの学生が積極的に授業に参加してくれたことに感謝したい。今後も児童文学に関心をもってくれれば嬉しい。 予習復習の時間が少ないという回答が多かったので、アクティブラーニングにおいて授業外での課題にもっと取り組めるように工夫したい。
フランス語 b	岡本 尚子	フランス語aで学んだことをもとに、より豊かな表現を身に付けることを目標としました。仏検にチャレンジするなど積極的に取り組んだ人も多く、よい雰囲気での授業を進めることができました。語学の習得には個人差があります。思うような成績ではなかった人も、続けて学習すればやった分だけ必ず身に付きますので、ぜひ今後もフランス語の学習を続けてください。
日本語表現法 b	佐藤 辰雄	○まずは、前例を見ないほど出席状況も出来も良かったことを、大書しておかねばなるまい。言葉の学習授業だからもっと騒いでも良いんだよ、と言いたいぐらい静かな中に確かな熱量を持つ学生が多く見受けられた。 ①問4授業理解度84.4%と高く、問11成長実感4.38・問15授業満足度4.50といずれも充実していたようだ。 ②問14自己採点が4.12と異例なほど自信タップリなのは、教員評価が4.11であるのと対比するなら許される矜持であろう。 次年度もこのような授業を実現したい。
社会心理学	大倉 恭輔	この授業では、教材ビデオにもとづいた説明という形式でおこなってきました。反面、そこから先への踏み込みのための時間が不足する部分もあり、物足りなく感じた人もいるでしょう。今後の課題とします。